

愛媛県八幡浜警察署協議会会議録
(令和5年度第3回)

1 開催日時

令和6年2月29日(木曜日)午後2時15分～午後4時00分

2 出席者

(1) 警察署協議会委員 会長以下3人

(欠席者4人は、後日書面開催とし、頂いた答申は協議会の答申に追記した。)

(2) 警察署 署長以下9人

3 議事概要

(1) 会長挨拶(要旨)

日頃から地域住民の安全安心のため職務を遂行され、住民が安心して暮らしていただけることに心から感謝する。引き続き、地域住民の目線に立った警察運営をお願いしたい。

新年早々、能登半島地震により大きな被害が発生し、亡くなられた方々に哀悼の意を表すとともに一日も早い復興を祈念いたしたい。この地域も南海大地震が発生すれば、甚大な被害の発生が想定されており、人的被害を少しでも抑えることが重要と指摘されている。

令和6年度運営目標の諮問を受け、答申となるが、項目には災害に対する取組みもあり、委員の皆様は活発なご意見をお願いいたします。

(2) 署長挨拶(要旨)

1月に発生した能登地震は最大震度7の揺れを観測し、建物は倒壊するなどし、多くの方が亡くなられ、被災された方は現在も不自由な生活を余儀なくされている。

愛媛県警では地震発生直後から延べ100人の支援要員を現地に派遣し救出救助活動、治安維持等に当たっている。また、引き続き全国警察一体となって被災地への支援を継続していく。

本県においては、数十年以内に高い確率で、南海トラフ大地震の発生が予想されており、能登半島地震と同様、もしくはそれ以上の被害の発生が

指摘されており、こうした情勢を踏まえ、管内危険箇所の見直しを進め、これまで取り組んでいた災害対策が機能するか点検し、地域住民の安全安心に取り組みたい。

引き続き委員の皆様から頂いた答申を大事に施策に取り組んで参りたい。

委員の皆様には、忌憚のない御意見をお願い申し上げます。

4 第2回協議会の答申に対する回答

諮問1 コンビニエンスストアと連携した被害防止対策

| 答申事項 | 取組事項 |
|---|--|
| <p>1 県警とコンビニの協定締結等県警とコンビニが協定を締結してはどうか。</p> <p>コンビニのATM機にポスターやフローチャートを貼付してはどうか。</p> | <p>八西地区コンビニエンスストア等深夜営業店防犯協議会等関係機関・団体に働きかけを行うとともに、警察本部とも連携し、実現に向けた協議を進めている。</p> |
| <p>2 コンビニに対する警察官の巡回の強化等警察官の巡回を強化し、顔の見える化を図ってはどうか。</p> <p>新人店員への教養、教育を強化するとともに、電子マネー購入者に購入申請書を記載させてはどうか。</p> | <p>警察官の巡回をより一層強化するとともに、八西地区コンビニエンスストア等深夜営業店防犯協議会等関係機関・団体に働きかけを行うなど、実現に向けた取組を進めている。</p> |

諮問2 詐欺に悪用される固定電話への被害防止対策

| | |
|---|--|
| <p>1 NTT西日本のサービスの周知</p> <p>NTT西日本の高齢者向け無償サービスである「ナンバーディスプレイ」や「ナンバーリクエスト」の機能の周知徹底を図ってはどうか。</p> | <p>県警ホームページや八西CATV等の各種広報媒体を利用するとともに、防犯イベントや講習会等あらゆる機会を活用し、周知・浸透に向けた取組を進めている。</p> |
| <p>2 個人情報の流失防止対策</p> <p>防犯意識の低い高齢者等が安易に着信のあった電話番号に架電し、個人情報を話して</p> | <p>あらゆる機会を活用し、広報啓発活動を実施するとともに、必要に応じて自動通話録音機能付きの固定電話の貸出を行っている。</p> |

| | |
|---|--|
| いるケースが散見されるので、対策が必要ではないか。 | |
| 3 自動通話録音機能付き固定電話の周知 民生委員をうまく活用し、自動通話録音機能付き固定電話の貸出に関する周知を図ってはどうか。 | 各地区の民生委員等関係機関・団体に働きかけを行うとともに、警察本部とも連携して対応している。 |

諮問3 効果的な被害防止広報

| | |
|---|---|
| 1 詐欺被害防止ポスターの募集 高齢者から「特殊詐欺被害防止ポスター」を募集して啓発につなげてはどうか。 | 「特殊詐欺被害防止標語」の募集を行うことで、現在関係団体と協議を進めている。 |
| 2 防災無線やSNSの活用 防災無線を活用して注意喚起を図ったり、自治体のSNSを活用して情報発信を行ったりしてはどうか。 | 防災無線については、現在も必要に応じて活用しているが、今後SNSについても関係する行政機関と活用の可否について協議していくこととしている。 |
| 3 介護職員等を通じた注意喚起 介護サービスを受けている高齢者等に対しては、介護施設職員やヘルパーなど福祉関係者を通じて注意喚起をしてはどうか。 | 一部の事業所については、警察本部を通じて同様の取組を行っているが、その他対象外の事務所への対応について、現在警察本部と協議中である。 |

5 諮問及び答申

| 諮問 | 答申 |
|-----------------------------------|--|
| 1 令和6年八幡浜警察署運営目標のうち取組の強化を望む事項について | <ul style="list-style-type: none"> ○ 特に住民に身近な交通事故防止、特殊詐欺被害防止を中心に進めてはどうか。 ○ 自然災害への備えが重要と判断し、各種災害対応訓練に注力してはどうか。 ○ 空き巣や痴漢、ひったくりなどの犯罪が起こりやすい場所などの特徴 |

| | |
|---------------------------|---|
| | <p>を共有してはどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各市町の防災無線、広報誌を有効活用しての広報活動に重点を置いてはどうか。 ○ 運営目標の優先順位を決定し、施策を進めれば、効果的な活動になるのではないか。 |
| <p>2 その他警察に期待する事項について</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○ 災害対応として、警察職員の安全確保の再点検、また、情報を早期に収集するために、ドローンの活用を検討してはどうか。 ○ 自然災害への備えが重要と判断し、各種災害対応訓練に注力してはどうか。 ○ 四輪車のハザードランプの使用方法について、本来の使用方と間違った使用が見られることから、警察署による取締りのほか、自動車運転免許証の講習時や、最初の教習所での段階で教養してはどうか。 |

6 業務推進結果、業務推進計画の説明

令和5年10月から令和6年1月までの業務推進結果及び令和6年2月から令和6年5月までの業務推進計画について各課長が報告した。

7 その他質疑応答

(1) 薬物乱用の危険性について

【委員】

- 薬物乱用防止として、中学校、高等学校に警察署から出向いて、薬物というものの恐ろしさや怖さ（薬物依存者の姿）を教えるはどうか。

【生活安全課長】

生徒指導の一環として、学校からの要請を受ければ、各高等学校へ出向き、SNS・薬物・喫煙に関する非行防止教室を開催している。時間に制限があり、「薬物」に特化した教室の開催は学校側と協議しなければならないが、今後は薬物依存者のDVD教材を活用して、危険性を周知できるように

対応を検討してまいりたい。

(2) 住民の生活を脅かす犯罪件数の増加について

【委員】

- 管内、県内ともに犯罪件数が増加しているが、原因は何か。また、窃盗犯の分類に「乗り物盗」とあるが、家の敷地内から車両を盗む窃盗団によるものか。

【刑事課長】

- (1) 管内の情勢として、夜間、飲酒に伴う暴行・傷害事件等の認知件数が増加傾向にある。コロナウイルスが5類に移行したことに伴い、人の動きが活発化したことが背景にあると考えられる。観光客など、県外居住者が窃盗などの被害に遭う件数も増加している。

統計上、令和5年の犯罪件数が増加しているようになるが、令和4年はコロナ禍であり、人々が行動を自粛した結果、犯罪が一時的に減少したとも考えられる。

- (2) 「乗り物盗」とは、自動車や自転車、原付バイクなどの乗り物を盗む手口を指すもので、発生場所は限定されていない。家の敷地から乗り物を盗んでも、駅の駐輪場で自転車を盗んでも、手口分類上は「乗り物盗」となる。

被害に遭う理由として多いのは、

- 自宅であることに安心し、ドアを無施錠のまま車内に鍵を置いていた。
- 街中で鍵をかけず、無施錠の状態で駐輪中の自転車を盗まれた

などが多い。

いずれも、鍵を閉めていれば防げていた被害と思料される。

刑事課は犯人を捕まえる部署であるが、住民と接する様々な機会において、施錠の必要性を繰り返し呼びかけ、被害の未然防止に努めることも責務だと考えている。

【委員】

- 全国的に治安は悪化しているのか。また、罪を犯す要因及び管内、県内で、闇バイトによる犯罪事案の発生があるか教えて頂きたい。

【刑事課長】

- 近年、社会問題となっている闇バイトは、希薄な人間関係において離合集散を繰り返す犯罪が多く、活動実態の把握が困難である。
強盗に入って住民を殺害した事件も報道されていたが、こうしたことが体感治安に影響していることと思う。闇バイトは「バイト」ではなく「犯罪」であることを周知するとともに、体感治安向上のためにも、日々発生する事件の早期解決に努めてまいりたい。
- 罪を犯す背景は様々で、例えば万引きにしても、金銭に困っている者や、お金はあるがもったいないからといった動機もある。近年では、金銭に困っている者を利用して特殊詐欺や強盗などの犯罪に加担させるケースもあり、警察全体としての対策が必要だと感じている。
- 昨年中、当署管内での闇バイト関連の事件の認知はなかった。

【委員】

- 管内高校で結成されるマナーアップクラブ会員と連携した交通活動の紹介があったが、今後も継続されるのか。

【交通課長】

- 今後も毎年、管内4高校で継続予定である。

8 警護訓練の視察

会議終了後、委員は4階講堂において、警護訓練を視察した。

警察署協議会の実施状況

会議の状況



業務推進結果報告の状況



警護訓練の視察状況



装備資機材の視察状況

